

ルートは推測

遭難当時「山と高原地図」には、木和田尾ルートとして破線で表示されている。国土地理院の地形図には、道の表記はなかった。

救助地点
(推測)

木和田尾ルート

坂本谷ルート

坂本谷ルートは、現在廃道となっているが、遭難当時、国土地理院の地形図には、道の表記が掲載されていた。

「山と高原地図」には、木和田尾ルートが掲載されており、気軽な気持ちで下山ルートに選択。道が不明瞭となり、沢に迷い込む。1夜ビバークしたが事なきを得た。

至：藤原岳

1,143mピークからの木和田尾ルートは、①最初、下山道がはっきりしていたが、すぐに道が不明瞭になる。②道があるような無いような……。③そのまま下山したため、④登り返すのが大変であり、また、⑤進む方角はあっていると思い込んでいたため、⑥何とかなると思い、⑦さらに下山を試みた。結果、警察に遭難救助要請をおこなった。寒い夜をビバークし、翌日、林道付近で救助され事なきを得た。
(HP要約)

道迷いの要素が多く含まれている、典型的な道迷いパターンである。送電線を意識し下山していたが、途中で送電線を見失い、完全に現在位置をロスした。

木和田尾ルートは尾根ルート。坂本谷ルートは沢ルート。地図の先読みをしていたなら「あれっ？おかしい？」と思ったに違いない。

「おかしいと思っていても、進んでしまう」これが、道迷いである。

現在位置確認は、スマホの地図アプリでを私は推奨している。道迷いを無くすためには何を使ってもいいじゃないか。と思う。